

# 町村新報

發行日 每月二回 十五日廿日  
 編輯兼印刷發行所 酒井秀吉  
 發行所 福石郡町村大字  
 下湯長谷路三十八番地  
 町村新報社  
 定價 一月金十錢  
 五分金二十錢  
 五號活字十二字詰  
 一行金二十錢  
 別色刷 四十錢

## 時事漫語

明年九月に施行される、縣傳戰は何時も緊張らしいの、議員の下馬評が、ボツ／＼騒がれて来た、舊顔と新顔とが如何に現はれるか方向が解らなくなる。問題である、其れと同時に選挙民の頭腦の進歩加減實際の人物は陰になつて、如何になつて居るか？ 興味ある懸案である。

地方税の負擔額の、重荷になつて来た事は否む事が出来ない、生産費を遙かに割り込んだ、米穀商賣を以てしては食ふ事さへ出来ぬ事になる、食ひない農村から多大の縣税を取らうとするのは無理である、公然強奪の感がないでもない。

これは時の政府の方針、地方官の抱負、及び吾等の選良縣會議員によつて、吾等の縣の財政をやり繰つて貰ふのだから、其責任の一端は縣民にも在る事になる、然し信任した議員が案外にも吾人の期待に反し馬鹿な形がない事もない。

一人前の日本男子は、保證金さへ積めば誰も立候補する事が出る、そして皆立派な政見發表をやる、下手もあれば上手もあるが、宣ひたい。

選挙は何時も緊張らしいのである、選挙民は、各種の宣傳戰に惑はされ、進むべき方向が解らなくなる。

選挙の人物は陰になつて、如何になつて居るか？ 興味ある懸案である。

選挙民の頭腦の進歩加減實際の人物は陰になつて、如何になつて居るか？ 興味ある懸案である。

## 時事公論

立獨歩、是々、非々主義を以て、縣政を料理せんとする硬骨の士は、寧ろ名の余り知れぬ、隠れたる慷慨の好漢に見出す事を得る、是迄中立の候補者は倒れたが、今後は一人一黨主義の議員がよい。

善も悪も、黨派に妨げられて、不滿ながらも黙従するに至る場合がある、縣政に黨派は、無用の長物である、徒に賣名に走り、利権をあり、私腹を肥さんとする腐敗漢もある、吾人は照魔鏡を振りかざして、人選を誤つてはならない。

現代は聲の割りに、實行が伴はぬ、金斗り叫ばれて、精神界は薩張りおかまいたくない、其時々利那主義で永続性がない、尖端的で尻かまはず、心は何時イラ／＼斗りする、修養のない時代である。

内閣命長がこれのみ祈り民の疾苦は少しも顧みない、遣ふこと爲すこと公明正大でない、反對の政策は正しくても反對する、即ち道義を以て争ふのでなく、利の爲に闘ふのである、正しき政治は舉國一致を以て始めて行はれるのである、然るに反對とあれば正邪善惡の別たず、直ちに之れを蹴する其状、犬猿も當ならぬ、至誠心が無いからである。學者が學理を研究する様な眞摯なる態度精神があつたならば善政を施すことが出来る筈である、鏡が曇つて居れば物の形がはつきりしない、一舉手一投足は皆私心の發作で、公明正大でないか、民意輿論の影が映らないか、黨派論これ事として天下の政權を蔑にし國利民福を蹂躙して私腹を肥やし我

余り偉らい人はいらぬ、吾國は未曾有の經濟國難思想はない、三千年の史乘一を取つて居る、これ宛かも一方は地獄餓鬼道に陥ちた世相である、聰明なる濱口首相閣下はこの險惡なる世相を如何に御遊ばすか、寒村僻邑の名も無き町村長、町村吏員すら此國家の危機を憂ひ、自發的に減俸を申出で町村費の負擔を軽減せんとし、既に實行して居る閣下は相聞當時天下に高級御實行の運びに至らない、君子の過ちは日月の蝕の如し、過ちて改むるに憚ること勿れである、政治といふものは、片苦しい杓子定規なものではない、法律の改廢は民意の向ふ所に従つて自由である、來る第五十八議會には是非文武官俸給令恩給法の根本的改正、不景氣對策、失業救済、産業統制、教育及軍備の實際化等に就き適當の施設を政治上に實現せられんことを切望に堪えない、吾人は徒に愚痴を繰返す者ではない、民衆の幸福を齎す眞の輿論政治の實現するまでは飽迄も説きつゝ正を踏み主義に據りて戦ふものである、經濟國難不景氣の深刻さは、一般民衆中には景氣ホク／＼だ、財布には餘財の多く出来ることは一方である、尤も高級受俸者は所得税を納める、併し數を見れば隠れのない事實ある、而して其税たるや富豪大官の收入に比すれば九牛一毛である、然るに現在農工商漁業者は收入相償はなす、却損又却損、更に擔稅力が無いのである、擔稅力無きものに不變の課稅する閣は一刻も早く會葬すべきである。